

**2024年3月期（第124期）第2四半期  
（2023年4月1日～2023年9月30日）**

## **芦森グループ決算説明資料**

**連結業績は、売上高 31,182百万円、  
営業利益 1,085百万円、経常利益 1,589百万円、  
親会社株主に帰属する四半期純利益 1,294百万円となりました。**

**2023年11月10日**

**芦森工業株式会社**

**証券コード：3526**

## 前年同期比で増収増益

	2023年3月期 第2四半期実績	2024年3月期 第2四半期実績	前年同期比	
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	29,087	31,182	2,095	7.2
営業利益	444	1,085	640	144.1
（営業利益率）	1.5%	3.5%	-	-
経常利益	1,169	1,589	420	35.9
特別損益	4	132	128	-
税金等調整前 当期純利益	1,173	1,722	548	46.7
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,036	1,294	258	24.9

- 対前年同期比増収、営業利益も大幅に改善した。
- 為替差益の計上により、経常利益も大幅増益。
- 当第2四半期連結累計期間の売上高営業利益、経常利益は、いずれも第2四半期連結累計期間としては過去最高となった。

## TOPICS

- 7月28日付で豊田合成株式会社との協業強化を目的とした基本合意書を締結。当社は同社の持分法適用会社となる予定。
- 東京証券取引所にスタンダード市場移行に関する選択申請を行い、10月20日付で同市場に移行。

		2023年3月期 第2四半期実績	2024年3月期 第2四半期実績	前年同期比	
		百万円	百万円	百万円	%
自動車安全部品事業	売上高	20,924	23,961	3,037	14.5
	営業利益	8	1,127	1,119	-
	(営業利益率)	0.0%	4.7%	-	-
機能製品事業	売上高	8,145	7,203	▲ 941	▲ 11.6
	営業利益	718	311	▲ 407	▲ 56.7
	(営業利益率)	8.8%	4.3%	-	-
不動産収入、 本社経費他	売上高	17	17	▲ 0	▲ 4.7
	営業利益	▲ 282	▲ 353	▲ 71	-
合 計	売上高	29,087	31,182	2,095	7.2
	営業利益	444	1,085	640	144.1
	(営業利益率)	1.5%	3.5%	-	-

## 自動車安全部品事業

一部顧客・地域で生産調整の影響があったが、原材料費の市況変動分の一部を売価に転嫁した結果と円安効果により、売上高、営業利益ともに前年同期比大幅な増収増益となった。

## 機能製品事業

- ・パルテム関連  
前年度からの繰越工事高が少なく、市況の動きも鈍かったこともあり、前年同期比減収となった。
- ・防災関連  
石油コンビナート向け大口径ホースの納入により、前年同期比増収となった。
- ・産業資材関連  
トラック生産の増加に伴い物流省力化分野が回復基調にあるが、全体では低調に推移し、前年同期並みの実績となった。

（単位：百万円）	2023年3月期 第2四半期実績	2023年3月期 期末実績	2024年3月期 第2四半期実績	前期末比
流動資産	31,176	32,552	32,912	360
固定資産	20,651	19,000	19,037	37
資産合計	51,828	51,552	51,950	398
有利子負債	17,007	14,299	14,417	117
その他負債	16,865	18,801	17,811	▲ 989
負債合計	33,872	33,100	32,228	▲ 872
資本金	8,388	8,388	8,388	-
資本剰余金	1,632	1,632	1,632	-
利益剰余金	8,006	7,985	8,980	994
自己株式	▲ 152	▲ 148	▲ 149	▲ 0
その他の包括利益累計額	41	556	823	267
新株予約権	21	20	23	3
非支配株主持分	17	17	23	5
純資産の部合計	17,955	18,452	19,722	1,270
負債及び純資産の部合計	51,828	51,552	51,950	398
自己資本比率	34.6%	35.7%	37.9%	2.2%

増益に伴い、有利子負債は  
前年同期比2,590百万円の減少。

引き続き有利子負債の圧縮を進め、  
自己資本比率40%を目指す。

(単位：百万円)	2023年3月期 第2四半期実績	2024年3月期 第2四半期実績	前年同期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,433	979	▲ 1,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 801	▲ 287	514
財務活動によるキャッシュ・フロー	17	▲ 448	▲ 466
現金及び現金同等物に係る換算差額	146	239	92
現金及び現金同等物の増減額	1,796	481	▲ 1,314
現金及び現金同等物の期末残高	3,978	4,883	905

(単位：百万円)	2020/3 期	2021/3 期	2022/3 期	2023/3 期		2024/3 期
	通期	通期	通期	2Q	通期	2Q
設備投資額	2,817	1,545	4,762	855	1,517	631
減価償却費	2,209	2,057	1,842	956	1,885	856

「営業活動によるキャッシュ・フロー」・・・原材料アップ等による運転資金の増加により、前年同期比で減少した。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」・・・有価証券の売却等により、前年同期比で改善した。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」・・・新規借入の抑制により、前年同期比で減少した。

		2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期	前期比	
		実績	当初予想	予想	百万円	%
		百万円	百万円	百万円	百万円	%
自動車安全部品事業	売上高	46,666	44,600	49,400	2,733	5.9
	営業利益	583	1,200	2,400	1,816	311.0
	(営業利益率)	1.3%	2.7%	4.9%	-	-
機能製品事業	売上高	18,926	20,300	18,500	▲ 426	▲ 2.3
	営業利益	2,207	2,100	1,800	▲ 407	▲ 18.5
	(営業利益率)	11.7%	10.3%	9.7%	-	-
不動産収入、 本社経費他	売上高	31	100	100	68	-
	営業利益	▲ 638	▲ 1,000	▲ 1,400	▲ 761	-
合 計	売上高	65,624	65,000	68,000	2,375	3.6
	営業利益	2,152	2,300	2,800	647	30.1
	(営業利益率)	3.3%	3.5%	4.1%	-	-
	経常利益	2,796	2,200	3,000	203	7.3
	特別損益	▲ 685	-	-	-	-
	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,017	1,500	1,800	782	76.9

・自動車安全部品事業は、為替が上半期より若干円高に振れる想定としている。

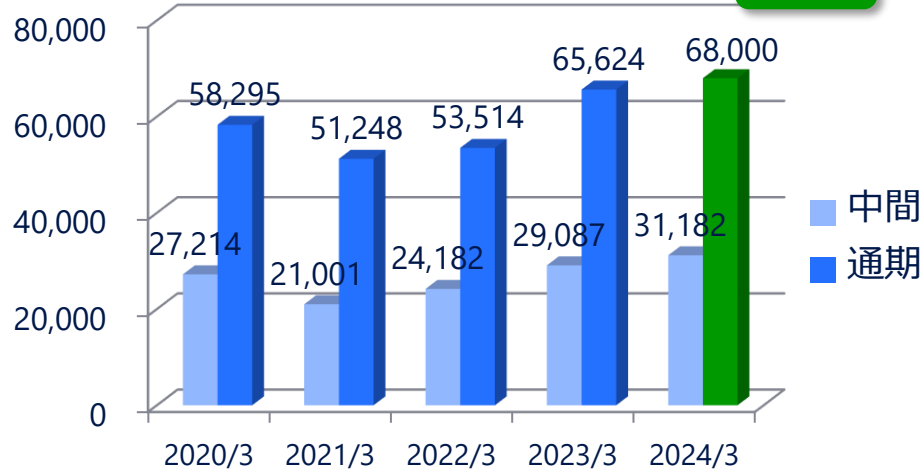
・機能製品事業は、パルテム関連が期末に向けて順調に工事を消化し、産業資材関連も回復する見通しとしている。

・11月10日付で通期連結業績予想の上方修正を行っている。為替変動に応じて適宜修正開示を行う予定。

(単位：百万円)

## 売上高

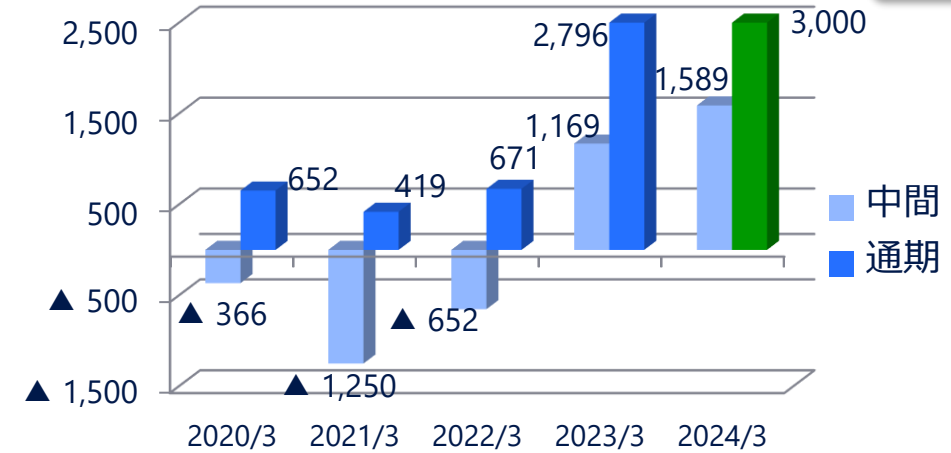
予想



(単位：百万円)

## 経常利益

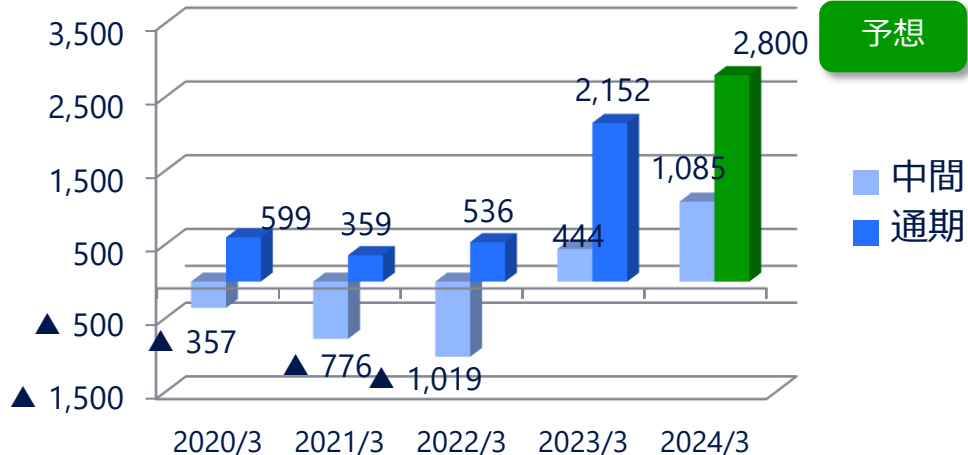
予想



(単位：百万円)

## 営業利益

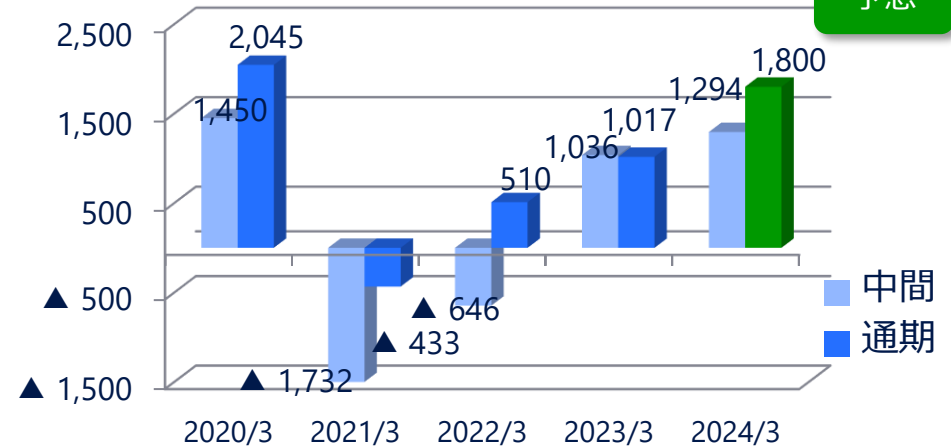
予想



(単位：百万円)

## 親会社株主に帰属する当期純利益

予想





## 自動車安全部品事業本部 主要製品のご紹介

### シートベルト



1967年にシートベルトメーカーとして初めてJIS規格の認証を受けて以来培ってきた技術が詰め込まれており、「モーター巻取り式リトラクター」をはじめ、「次世代シートベルト」への挑戦にも積極的に取り組んでいます。

### 手動シェード



ドアトリム内にビルトインされた巻取り式ドアシェードです。使用時以外はドアトリム内に巻き取るため視界を遮ることがなく、また上端まで閉めればプライバシーを守ることができます。

### エアバッグ



1986年にエアバッグの開発に着手し、1989年に量産を開始。座席サイド部分に内蔵される「サイドエアバッグ」や「カーテンエアバッグ」等、正面衝突以外の衝撃を緩和するための多種多様なエアバッグを製造しています。

### セパレーションネット



乗員スペースとラゲージルームを仕切るネットで、急制動時に乗員スペースへの荷物の進入、荷くずれを防止し、乗員を守ります。



## 機能製品事業本部 主要製品のご紹介

## パルテム・フローリング工法



住宅リビングの床をイメージできるフローリング工法は、円形のみならずあらゆる断面形に対応できる、主に下水道向け管路更生工法です。

## 消防用ホース 低圧力損失ホース



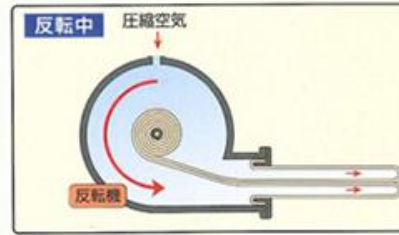
放水時の圧力損失を従来品と比較して最大約50%低減し、より遠く、高く、早く放水でき、低燃費で操作できるため環境への負担も軽減できるホースです。

## リフトアップ式搬送システム「エアーロールシステム」



円滑なトラック貨物の移動により荷役作業を省力化させるシステムで、女性や高齢者でも容易に扱え、作業負担を軽減します。

## ホースライニング工法



既設管の内面にシールホースを「反転」挿入し、新しくパイプを形成するパルテムの原点となる工法です。

## 緊急排水ホース「パルジェット」



水害や災害の現場で排水ポンプ車がすぐに使用できるように軽量化した緊急排水対策用ホースです。

## 軟弱地盤表層処理工法用シート「パレスシート」



格子状補強枠（専用モルタル充填円筒織物）と補強枠下の土木シートにより荷重を分散させ、軟弱地盤での沈下を防ぐ表層処理工法です。撤去も容易で原状復帰が可能です。

## 芦森工業株式会社 社是

1. 信用を重んじ、堅実を旨とする。
2. 人の和と開かれた心で活力ある企業を築く。
3. 創意を生かし、社業を通じて社会に貢献する。

### Mission・Vision・Values

#### 【ミッション】

“私たちの使命は、命と暮らしを守る製品を提供することです”

#### 【ビジョン】

“私たちは、すべての人々に信頼される企業グループであり続けます”

#### 【バリュー】

“私たちは、誠実に、ルールを守り、品質最優先のものづくりに取り組みます”

本資料中の業績予想および見込みについての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

IRに関するお問い合わせ先

芦森工業株式会社 総務部 総務広報課

TEL : 06-6105-1680

MAIL : [ir\\_madoguchi@ashimori.co.jp](mailto:ir_madoguchi@ashimori.co.jp)

HP : <https://www.ashimori.co.jp>

ちから  
つむぐ 技術、つなげる 未来

